

# 鈴木ひとし

・・・千葉県政へ三つの提案・・・

- ① 「低福祉ちば」からの脱却
- ② 「未来をつくる教育」人への投資を最優先
- ③ 議員定数削減、行政改革を実行



立憲民主党千葉県議会議員会 県議会報告  
～平成30年度9月補正予算などについて～

声なき声を聴き、よりそう政治

[http://www.gikai.pref.chiba.lg.jp/?tpl=speaker\\_result&speaker\\_id=334](http://www.gikai.pref.chiba.lg.jp/?tpl=speaker_result&speaker_id=334) より、鈴木ひとしの質疑をご覧ください。



本会議場の演壇に立つ鈴木ひとし県議

## 平成30年度9月補正予算成立

平成30年度9月県議会は、9月13日から10月11日まで28日間の会期で開催されました。県有施設・学校などのブロック塀安全対策などに83億33百万円の補正予算などについて審議が行われ、知事提案の全ての議案が可決されました。また鈴木ひとし県議が所属する、立憲民主党会派は「千葉県東葛飾土木事務所における官製談合防止法違反事件に係わる調査特別委員会の設置について」を議員発議で提案しましたが、自民党などの反対により調査特別委員会の設置は認められませんでした。

## 子ども達の安全のために／認可外保育施設の保育の質の確保について

生産年齢人口の減少、価値観の多様化など様々な要因により、女性の社会進出が拡大し、共働き世帯は1100万世帯を超えています。習志野市の発表では、平成30年4月に認可保育所に入所できなかった「不承諾児童数」は254人で、その内55人もの児童が認可外保育施設に入所しました。認可外保育施設が認可保育所に入れなかった場合の「滑り止め」となっていること、さらに幼児教育無償化の対象に認可外保育施設が含まれていることなど、その役割はますます重くなっています。しかし認可保育所の基準と比べて認可外の基準が低く設定されていることから、保育の質が確保されているのかどうかを確認するために、認可外保育施設の監督状況について県当局の対応を質問しました。

Q 鈴木県議

A 飯田健康福祉部長

Q

認可外保育施設の質の向上を図るため、県としてどのように取り組んでいくのか。

## 12月5日千葉テレビ中継・代表質問に登壇

来る平成30年11月28日から24日間の会期が予定されている、「千葉県議会平成30年度12月議会」にて鈴木ひとし県議が「立憲民主党千葉県議会議員会」の代表質問に登壇します。平成30年12月5日13時より千葉テレビ放送「テレビ傍聴席」にて生放送されますので、ご覧ください。

A

認可外保育施設においても、安全、安心な保育サービスを提供するため、適正な保育環境が確保されている必要があります。

そこで、県では、各施設に年に1回の立入調査を行い、また必要に応じて特別立入調査を実施しているところです。さらに、保育の質と安全性向上を図るため、事故防止を中心に認可外保育施設の保育従事者向けの研修と施設への巡回指導を1月から実施しています。

Q

認可外保育施設に対する立入調査の結果、指導の対象となった件数と、特別立入調査の件数の推移はどうなっているのか。

A

認可外保育施設に対して、文書指導や口頭指導を行った件数は、平成25年度32件、26年度41件、27年度338件、28年度42件であり、このほか、28年度は改善勧告1件を行っています。また、認可外保育施設の特別立入調査の件数は、平成28年度3件、平成29年度は11月末日現在で4件となっています。

Q

特別立入調査の対象となった施設の中で、指導監督基準を満たしている旨の証明書が交付されていた保育施設はあったのか。

A

認可外保育施設指導監督基準を満たしている施設に対する証明書の交付については、厚生労働省の通知に基づく指導監督基準の全調査項目に適合していると判定した上で、発行しているところです。特別立入調査を実施した施設のうち、証明書が交付されていた施設は平成28年度1か所、29年度は11月末日現在で2か所です。また、このうち1か所については、基準を満たしていないことが明らかになったため、証明書の返還を求めたところです。県としては、引き続き、適正な施設運営がなされるよう指導してまいります。

## 要望

待機児童の増加に伴い、認可外保育施設の重要性が増している中で、保育の質を担保するため立入調査などが有効です。限られた人員で効率的に指導、監督するために無通告での立入調査なども検討いただき、より厳しく指導監督するよう要望します。

(裏面につづく)



芸術文化振興条例検討委員会で議論する鈴木ひとし県議

## 議員発議の条例「千葉県芸術文化の振興に関する条例」が制定されました。

本年2月に設置された千葉県文化芸術振興条例検討委員会により審議されていた「千葉県芸術文化の進行に関する条例」が本議会に発議され、賛成多数で可決されました。鈴木ひとし県議は全11名からなる検討委員に会派を代表して選出され、6回にわたるこの条例制定の検討に携わって参りました。審議の中では、菊田神社の青年会役員の経験から「担い手不足の地域の祭りなど伝統文化の維持」を、また建築士資格保有者として「文化的価値のある街並み・建築物の保全」について条例に定めることを主張させていただき、条例の中に反映されています。

## 鈴木ひとし県議が取り組んできた「千葉県耐震改修促進計画」が一部改正されました。

千葉県では、「建築物の耐震改修の促進に関する法律」に基づき「千葉県耐震改修促進計画」を策定し、既存建築物の耐震診断及び耐震改修等の耐震化施策を実施してきましたが、震災などの際に物資を輸送するいわゆる「緊急輸送道路」の沿道建物が耐震診断・耐震改修が義務付けられておらず、震度6強以上の大地震が発生した場合には、昭和56年以前に建築された「旧耐震基準」の建物が倒壊して、これらの「緊急輸送道路」を閉塞させる恐れがあります。鈴木ひとし県議は、東京都や埼玉県などで制度化されている「緊急輸送道路の沿道建物の耐震診断・耐震改修の義務付け」を実施するように一般質問、予算委員会などの機会を通じ、県当局に検討を求めて参りました。このたび、県では同計画の一部を改定し、沿道の建築物に耐震診断を義務付ける道路として、県の防災上特に重要である高規格幹線道路等を指定することとなりました。

今後は「高規格幹線道路」のみならず、「特定緊急輸送道路」の沿道建物にまで対象を拡大し、県民の安全を確保するための制度拡大を求めて参ります。

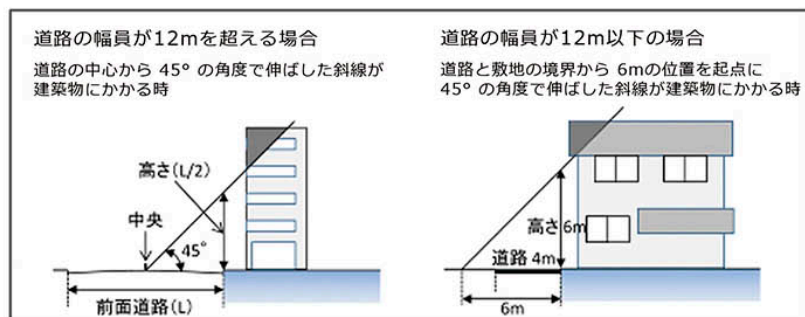
### 習志野市内の緊急輸送道路

- 京葉道路
- 東関東自動車道
- 国道14号線
- 国道357号線
- 県道8号線(船橋我孫子線)
- 県道15号(千葉船橋海浜線)
- 県道69号線(長沼船橋線)

\*赤文字が今回耐震診断が義務化された路線

耐震診断義務化の対象となる建物は以下の通りです。

- 「緊急輸送道路」に敷地が接している建築物
- 昭和56年5月31日以前に新築の工事に着手した建築物
- 上記の条件を満たしかつ、下図の高さを超える建物



## 「立憲民主党千葉県議会議員会・2019年度県政予算・制度に関する要望」141項目を森田健作知事に伝達

千葉県議会立憲民主党議員会では9月26日に、12の部局に対する141項目の要望を記した「平成31年度予算・制度に対する要望」を森田知事に対して伝達しました。鈴木ひとし県議は商工労働企業常任委員会に関連して、「中小・小規模企業振興」や「産業構造の変化に応じた人材育成対策」など18項目にわたる要望を提案しました。



来年度予算・制度への要望を森田健作知事にお渡しする

## 平成31(2019)年度予算・制度に対する要望書

平素より、県政運営にご尽力いただいておりますことに心から敬意を表します。

さて、近年の社会経済情勢を見ると、景気は緩やかな回復基調が続く中、企業収益は過去最高水準となり、雇用情勢も改善が続いています。その一方、個人消費は伸び悩んでおり、多くの働く者、生活者が景気回復を十分に実感するまでに至っていない状況となっています。また、いわゆる中間層が減少するとともに低所得者層が拡大し、これに人口減少が相まって、経済、社会保障、財政の持続可能性に影響を落とし、将来不安につながっています。

こうした中、本県にあっては、間もなく直面することとなる人口減少、そして少子高齢化とそれに伴う介護・医療費の増大、待機児童や教育費など子育て負担の増大と県民を取り巻く環境は一層厳しさを増しております。

また、今夏の西日本で発生した豪雨災害、全道をブラックアウトに陥れ多くの被害が生じた北海道胆振東部地震などをはじめとして様々な災害が発生しています。県政に対する県民要望によっても、災害に対する対応が常に上位を占めており、災害に強いまちづくりに引き続き取り組んでいかなくてはなりません。

その一方、今後の県の行財政運営は、依然として厳しい見通しと考えられます。そのような中で県民の要望を実現していくためには徹底した行財政改革の断行と、優先順位を明らかにした行政運営が求められます。また、税の滞納や生活保護費の不正受給などに対して、厳正な対応を行うことも税負担の公平性の観点から大変重要なことです。

この度、立憲民主党千葉県議会議員会では、県民からの要望が多かった項目を中心に、予算・制度に対する要望を取りまとめましたので提出します。全ての県民が安心して生活することができ将来に希望が持てるよう、平成31年度予算編成にあたり十分配慮されるよう強く要望します。

## 鈴木ひとしプロフィール

1964年(昭和39年)2月23日 習志野市津田沼生まれ津田沼育ち  
2015年より 千葉県議会議員

千葉県都市計画審議会 委員  
習志野健康福祉センター運営協議会 委員  
菊田保育所 習志野市立津田沼小学校  
習志野市立第一中学校  
県立八千代高校 日本大学経済学部卒

【資格】  
宅地建物取引士  
マンション管理士  
2級建築士  
JAF国内A級ライセンス

【事務所】 〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 4-1-25

TEL/FAX:047-481-8881

https://www.h-szk.com Email: suzuki@h-szk.com